2018 年度　ＦＤ活動報告

経済学研究科

１　ＦＤ活動の実施体制、取り組みの概要

経済学研究科において、継続的に、経済学研究科の教育活動における様々な問題点を議論し、改善に向けての活動を行っている。また、必要に応じて、委員会での議論の結果を経済学研究科教授会にフィードバックしている。教授会においては、全学が企画する FD 会議等の紹介を行い、教員の参加を促している。

２　ＦＤに関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況

開催日	内容（タイトル）	種別	参加者数

３　ＦＤに関する会議、委員会の開催状況

会議・委員会名	内容	回数	委員数
経済学研究科委員会	研究科全体の FD 活動を企画、実施	11	9

４　ＦＤ活動への各教員の参加状況

※　前項のセミナー･委員会等への参加の他、教授会後に実施している勉強会等への出席や、分野内で成績分布について確認・検討する機会を設けている場合なども含みます。

教員数（実数）	29　人　／　29　人中

５　ピア授業参観実施状況

期間	公開授業数	参観者数	特記事項
前期	13	1	ピア授業参観は通年で、教授会等で教員の参加を促している。
後期	8	2	
年度合計	21	3	

６　その他取り組みの具体的実施状況

・後期期間中に経済系 M1 院生のガイダンス・ディレクターの制度設計について議論した。

・教員間での勉強会を 4 月、6 月に実施し、年間を通しての論文指導の方針や効果的な論文演習の内容について議論した。

・論文演習後の時間を割いて、教員間で効果的な教育方法を議論し、修士論文作成に向けての効果的な教育内容を論文演習に取り込んだ。

・4 月、7 月、9 月、12 月に博士後期課程・博士前期課程院生の合同ゼミナール等を利用して、教員間で各院生の学修状況の確認および院生への指導に関する情報交換・意見交換を行っている。これにより、各院生に必要なフォローアップについて認識と方針を共有し、各教員の授業および演習（論文指導）に適切に反映できるよう努めている。

・サテライト教室において昨年度実施した授業アンケート結果を分析し、今後の教育活動の改善に役立てた。なお、本年度も授業アンケートを実施しており、次年度において分析することとしている。